

介護職員初任者研修科

目標資格 ★ケア・コミュニケーション検定（8月受験）
 ★強度行動障害支援者養成研修・基礎研修課程（9月受講・訓練修了時認定）
 ★介護職員初任者研修課程（8月～10月受講・訓練修了時認定）

募集期間：令和6年5月27日（月）～令和6年6月24日（月）

（※募集期間終了間際になりますとハローワークの受付窓口が大変混雑しますので、お早目の受講申込み手続きをお勧めいたします。）

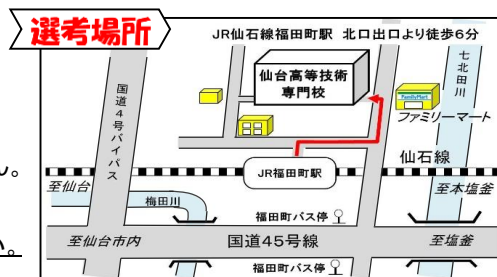
訓練対象者	◆公共職業安定所（ハローワーク）に求職申込みをしている方。 ◆公共職業安定所長から受講指示、受講推薦または支援指示を受けることができる方。 ◆資格取得を就職につなげる強い意志のある方。
訓練目標	介護・福祉業界において介護職として求められている倫理観や専門的な知識・技術を習得する。さらに介護職として求められている福祉の心やコミュニケーション能力を身につけ、高齢者福祉分野・障害者（児）支援分野への早期就職をめざす。
訓練期間	令和6年7月31日（水）～令和6年10月30日（水） 3か月コース
定員	20人（応募者が定員の半分以上の場合、訓練を中止することがあります。）
訓練実施施設	EDC医療福祉学院 【 URL https://www.edc-j.net 】 宮城県仙台市青葉区五橋1-4-30 五橋ビジネスセンタービル3F 電話 022-716-2125 ※訓練実施施設の見学を希望する方は下記期間に連絡してください。 期間：5月27日～6月24日（平日のみ） 担当：半沢 電話：022-716-2125
訓練時間	午前9時50分～午後4時30分
教材費	11,000円（受講料は無料） ※指定の教材は必ず一括購入していただきます。 なお、訓練途中で退校された場合でも、返品・返金はできません。
その他費用	ケア・コミュニケーション検定料 5,000円 訓練生総合保険・保険料 3,100円（振り込み手数料は別途必要）
申込方法	募集期間内に管轄ハローワークの職業相談窓口にて御相談の上、お申込み下さい。

選考日時	令和6年7月4日（木）午後1時から（受付 午後0時30分～0時50分） ★応募者多数の場合は開始時間の変更があります。その際は連絡いたします。
選考方法	面接
選考場所	宮城県立仙台高等技術専門校（仙台市宮城野区田子1-4-1 Tel.022-258-1151）
持ち物	筆記用具、上履き、外履き入れ、84円切手1枚（受験結果送付用）
合格発表	令和6年7月19日（金）に合否通知を自宅等の連絡先に郵送します。 （宮城県立仙台高等技術専門校のホームページにも掲載します。）

注意事項

- ・受験票は交付しません。受験番号と面接順番は受付時にお知らせします。
- ・当日の受付順と面接順は異なりますので、御了承下さい。
- ・欠席した場合は辞退とみなします。必ず御連絡下さい。
- ・入学願書に御記入頂いた氏名・住所等の個人情報は面接選考を目的として利用し、目的以外の利用はいたしません。なお、入学願書は返却いたしません。
- ・当日の受験人数が多い場合、長時間お待ちいただくことがあります。あらかじめ御了承下さい。
- ・受験生のための駐車場はありませんので、必ず公共交通機関を御利用下さい。

（注）選考場所と訓練場所は異なります



問い合わせ先

宮城県立仙台高等技術専門校 教務班 委託訓練担当
 〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-4-1 電話：022-258-1151 FAX：022-258-5152
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sd-kougi/> E-mail: sdkogns-itaku@pref.miyagi.lg.jp

介護職員初任者研修科（離-24） 委託訓練カリキュラム

	科目	内容	時間数	
訓練内容	入学式・修了式		6	
	オリエンテーション	訓練概要、諸注意、施設設備、提出書類について、使用弁士の配付	3	
	就職支援ガイダンス	就職目標の明確化、就職活動の行動計画、職務経験の振り返り・棚卸し、自己理解・自己分析・自己アピール表現、応募書類の作成（履歴書・職務経歴書）、ビジネスマナー講習、模擬面接の実施、事業所採用担当者の講話、修了生の講話、ジョブ・カード作成支援、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティング	57	
	働くことの基本ルール	労働契約、就業規則、労働保険等	3	
	デジタルリテラシー	ITとビジネス、情報セキュリティ、コンプライアンス、業務改善の考え方・コツ	3	
	安全衛生	安全衛生の必要性、事故防止の為の心身の健康管理、作業場の整理や危険を誘発する要因の除去	3	
	職務の理解	多様なサービスの理解、介護職の仕事の内容や働く現場の理解	8	
	介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護、自立に向けた介護	11	
	介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携、介護職の職業倫理、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護職の安全	8	
	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度、医療との連携とリハビリテーション、障害者自立支援制度およびその他制度	11	
	介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	8	
	老化の理解	老化に伴うところとからだの変化と日常、高齢者の健康	8	
	認知症の理解	認知症を取り巻く状況、医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理、認知症に伴うところとからだの変化と日常生活、家族への支援	8	
	障害の理解	障害の基礎的理解・障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識、家族の心理、かかわり支援の理解	4	
	ところとからだのしくみと生活支援技術	介護の基本的な考え方、介護に関するところのしくみと基礎的理解、介護に関するところのしくみと基礎的理解、生活と家事、快適な居住環境整備と介護、ところとからだのしくみと自立にむけた介護（整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠）、死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護、介護過程の基礎的理解	45	
	振り返り	振り返り、就業への備えと研修修了後における継続的な研修	8	
	評価試験	介護職員初任者研修課程における修了評価試験	1	
	強度行動障害支援者の知識	強度行動障害がある者の基本的理解、強度行動障害に関する制度及び支援技術の基本的な知識	10	
	ケア・コミュニケーションの知識	ケア・コミュニケーションの基本的な心構え、被援助者との関係を築くコミュニケーション、被援助者の理解と情報の交換・行動化の支援、チームワークとコミュニケーション、その人らしさを大切にコミュニケーション	24	
	職場見学	介護老人保健施設、特別養護老人ホームの職場見学をオンラインで実施	6	
	小計（入学式・修了式は含まない）			229
	実技	ところとからだのしくみと生活支援技術（演習）	ところとからだのしくみと自立にむけた介護（整容・移動・移乗・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠）、総合生活支援技術	69
		学内施設実習	実際の介護施設を想定し、総合的な実地研修を学内で実施	12
		ケア・コミュニケーションの技術（演習）	自己紹介、状況別対応の表現、相手の意向を尊重した表現、苦情やクレームに対して謝罪するとき、コーチング・コミュニケーションのステップと表現、専門職種との連携・情報伝達、アサーティブなコミュニケーション、障害者・認知症・人生の最期を迎える被援助者とのコミュニケーション	12
強度行動障害支援者の技術（演習）		基本的な情報収集と記録等の共有に関する演習、強度行動障害がある者のコミュニケーションの理解に関する演習、強度行動障害の背景にある特性の理解に関する演習	8	
小計			101	
計		総訓練時間数	330	

訓練実施予定表

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水			
7月																																		○	
8月																																			
9月																																			
10月																																			

○：訓練実施日 ■：職場見学（オンライン） ▲：就職相談日（ハローワーク訪問日）